【阿佐ヶ谷北校】　　**【保護者等向け　放課後等デイサービス評価表**

事業所名：放課後等デイサービス　バンブーファオ阿佐ヶ谷北校　　対象人数（保護者）58人　回答者数 56人　回収 96.6%　　公開日：2026年11月1日

		チェック項目	はい	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか	51	5	スペースに関して危険や物足りなさは感じていません。 先生方は限られた空間の中で工夫されていると思います。 もう少し広い方が良い グループレッスンの際は、手狭に感じています。	環境整備に努め、適切な場所の確保を継続していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	55	1		放課後等デイサービスガイドラインで必要とされている人数を配置しております。個々のニーズやレッスンのねらいに応じた適切なスタッフ数の配置をしております。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	52	4	普段意識してないです。	障害の特性に応じた提示や環境設備への配慮を引き続き実施していきます。
適切な支援の提供	4	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後ディサービス計画が作成されているか	56			アセスメントに基づき、複数のスタッフでニーズや課題について検討し、支援内容を検討しております
	5	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	56		毎回違う活動内容、内容も偏りなく、よく考えてプログラムを作られていると思います。	複数のスタッフでアセスメント・課題についての検討を行い、プログラム内容は季節などを考慮して固定化しないよう工夫しております。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のないこどもと活動する機会があるか	14	42	特にこちらの活動では希望していません。 ないと思います。	現在交流の機会を設けておりませんが、今後の必要性、実施の可能性について検討いたします。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	55	1		個々のニーズや課題に応じた適切な活動が提供できるよう今後もプログラムを工夫し、レッスンの質の向上を目指して行きます。
	8	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	55	1	新しく入った先生方は、子どもの特性や状況を把握していない言動や対応が見られるのが残念です。	来所時、レッスン後にお子ども様の様子を保護者様と共有しております。新しく入ったスタッフとも引き続き丁寧に共有してまいります。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	55	1		ご家庭でできる支援について情報提供できる機会を設けています。また、ご家庭や学校の様子から個別にお話をする機会を設けています。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	24	32	長年顔見知りの親とはよく話します。 まったくないわけではないが、もっとあるとありがたい。 保護者会はないと思われます。	現在交流の機会を設けておりませんんが、今後の必要性、実施の可能性について検討いたします。
	11	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	50	6	このような状況がないので分かりません。	利用者、保護者の意見について真摯に受け止め、迅速丁寧な対応を心がけています。
	12	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	55	1		保護者からのご質問に対しては、フィードバックや個別相談でお受けしております。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信しているか	55	1		定期的にバンブー通信を発行し、活動の概要等を発信しております。
	14	個人情報の取り扱いに十分に留意されているか	55	1		個人情報の取扱いについて契約時に確認し、SNS等に載せる場合は、事前に保護者の方に確認を行っております。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	46	10	よくわからない	マニュアルを策定し、事業所内で閲覧できるようにしています。今後は掲示してあることをより周知していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	55	1		地震・火事・不審者対策等を想定した避難訓練を年に４回実施しております。緊急避難先については、施設内に掲示し避難訓練開催日に配布し皆様に周知できるように努めております。
満足度	17	こどもは通所を楽しみにしているか	55	1	活動で行っている歌を家でも歌っています。 お友達の名前も覚えました。楽しそうです。 楽しそうにしているが、連れていくのがしんどいときもある。 何処に行くにも家から出たがらない。	お子様にとって楽しめる場所となり、課題にも意欲的に取り組めるよう支援を行います
	18	事業所の支援に満足しているか	56			お子様、保護者の皆様にご満足いただけるようさらに創意工夫し療育内容の充実に努めます。
運動療育	19	運動療育は役に立っているか	54	2	普段なかなかできない内容なのでありがたいです。大型の遊具を楽しみにしています。	今後も療育内容の検討、開発に努めより良い療育を目指します。
	20	今後やってほしい療育はあるか	33	23	充分やってもらっている。 今のプログラムに大変満足しています。 PT個別の曜日の拡充。 身体均整法が行きやすい曜日に開催してほしい。 きこえと言葉のレッスンを増やして欲しい。 文字を書くなど、机にむかっての勉強。 ST 感覚遊び 音楽の専門家のプログラム。ピアノを使っての音楽療育。 買い物学習 課外活動、生活体験など。 鉄棒や雲梯など、自重で体を大きく動かすこと 安全面考慮の上あると良い。 長い時間のプログラムが増えてほしい。 漢字や足し算など、勉強面の教え方を知りたいです。 動作法 今のままでも充分です。	ご希望頂いた内容について5領域を踏まえ検討し可能な範囲でプログラム化していけるように努めます。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。